

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |                 |
|----------|----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | ライラ交野中央              | 階数     | 地上8階            |
| 建設地      | 交野市私部西2丁目598番1       | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 第1種住居地域、法22条区域       | 平均居住人員 | 252 人           |
| 地域区分     | 6地域                  | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅                 | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2019年6月 予定           | 評価の実施日 | 2018年6月1日       |
| 敷地面積     | 3,332 m <sup>2</sup> | 作成者    | IAO竹田設計 三木      |
| 建築面積     | 1,387 m <sup>2</sup> | 確認日    | 2018年6月15日      |
| 延床面積     | 7,125 m <sup>2</sup> | 確認者    | IAO竹田設計 岡本      |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項  |  |  |
|---|--|--|
| <b>総合</b><br>敷地北側に一級河川の前川があり、河川敷の空間と合わせて明るく清々しい歩廊空間となるよう配棟や植栽計画としている。<br>また、自然というコンセプトを意識した外装、内装を選定することで、遠景、近景、内部と一貫した空間を提案としている。 |  | <b>その他</b><br>特になし   |
| <b>Q1 室内環境</b><br>分譲マンションという性質上、サッシはT-2仕様、床はLL-45の防音フローリングを採用予定としている。また、戸境の壁はRC壁の180mmとすることで、上下階や隣戸間の生活音や、外部からの騒音への配慮を行っている。      | <b>Q2 サービス性能</b><br>躯体は劣化対策等級3とすることで、コンクリートの長寿命化を図っている。また、共用仕上材は耐久性、メンテナンス性を考慮した材料を選定することで維持管理とデザイン性を両立できる計画としている。 | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>建物は境界から一定以上の離隔をとり、外壁は土を練ったような色のタイル貼とすることで明るすぎず、濃すぎず、圧迫感の感じにくい色としている。<br>また、敷地外周部をできるだけ植栽帯で囲むことで建物   |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>断熱性能等級4を取得することで、内部の室内空間に対する熱負荷を軽減している。  | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>節水器具などを採用することで、水資源など意識した設計としている。  | <b>LR3 敷地外環境</b><br>風環境を事前に調べることで、周辺への影響を確認している。<br>また、駐車場へのアクセスで出入口が渋滞しないよう待機スペースの確保や駐輪場を1戸に2台設定することで、敷地外へ影響しないように配慮している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0041

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

|        |                        |   |   |    |      |               |     |   |
|--------|------------------------|---|---|----|------|---------------|-----|---|
| 【建物概要】 | 建物名称                   | ライラ交野中央   |   |    |      |               |     |   |
|        | 建設地                    | 交野市私部西2丁目598番1  |   |    |      |               |     |   |
|        | 用途/区分                  | 集合住宅  |   |    |      |               |     |   |
| 【評価結果】 | CASBEE<br>総合評価         |   |   |    |      |               | B+  |   |
| ①      | CO2削減                  |   |   |    |      |               | 4   |   |
| ②      | みどり・ヒート<br>アイランド対策     |   |   |    |      |               | 2   |   |
| ③      | 建物の断熱性                 |   |   |    |      |               | 4   |   |
| ④      | エネルギー削減                |   |   |    |      |               | 4   |   |
| ⑤      | 自然エネルギー直接利用            |   |   |    |      |               | ○   |   |
|        | 再生可能エネルギー<br>利用施設の導入状況 | 太陽光発電   | — | 風力 | —    | 地熱            | —   | — |
|        |                        | 太陽熱利用   | — | 水力 | —    | バイオマス         | —   | — |
|        | エネルギー消費量の報告            |   |   |    |      |               | 対象外 |   |
| 【評価項目】 |                        |   |   |    |      |               |     |   |
|        | 項目                     | 評価内容  |   |    |      | スコア           | 評価  |   |
| ①      | CO2削減                  | CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価                                      |   |    |      | 4.0           | 4   |   |
| ②      | みどり・ヒートアイランド対策         |   |   |    |      |               |     |   |
|        | 生物環境の保全と創出             | CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価                                       |   |    |      | 2.0           | 2   |   |
|        | 敷地内温熱環境の向上             | CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価                                    |   |    |      | 2.0           |     |   |
|        | 温熱環境悪化の改善              | CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価                                   |   |    |      | 3.0           |     |   |
| ③      | 建物外皮の熱負荷抑制             | CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価                                      |   |    |      | 4.0           | 4   |   |
| ④      | 設備システムの高効率化            | CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価                                      |   |    |      | 3.8           | 4   |   |
| ⑤      | 自然エネルギー利用              | CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価                                      |   |    |      | 3.0           | ○   |   |
|        | エネルギー消費の実態把握に努める       | エネルギー消費量の実績を3年間報告する。  |   |    |      | 報告する<br>報告しない | -   |   |
| その他    |                        |   |   |    |      |               |     |   |
|        |                        | 技術の名称   |   |    | 考慮事項 |               |     |   |
|        | 先進的技術の導入               |   |   |    |      |               |     |   |
|        | 特に配慮した事項               | 敷地内の車路部分を最低限とし、できる限り植栽帯などとする事で、舗装面などの輻射熱など可能な限り抑えようと意識している。 |   |    |      |               |     |   |